



# 「陽」

東北の空はいつも変わらずきれいでやさしい。今日も明日もそして遠い未来にも、やさしい陽が昇ってくる。

## 平林克己写真展

同時  
開催

東北の友人たちの「今」を映像でご紹介します。

## メッセージ3.11

2012年3月1日(木)～15日(木) Tower Gallery 3.3.3 東京タワー Foot Town 3F (入場無料)  
10:00～21:00

期間中は東日本大震災遺児のために募金箱を設置します。みなさまよろしく申し上げます。

後援:石巻市 協力:東京タワー / 竹鶴孝太郎

# 「陽」

2011年4月、僕は東北の被災地に向かいました。

自分が行って何ができるのか、邪魔になるだけではないか、と何度も自問自答しましたが、  
今何もしなかったら将来絶対後悔すると思い、とにかく足を運んでみたのです。  
しかし、現地では「誰でもいい」、「一人でもいい」、「一日でもいい」という状況でした。

東松島ではじめて見た津波被害の跡は、想像を絶するものでした。

建物は壊れ、地面は隆起し、ありとあらゆるものが散乱している。水面は上昇し、渦を巻いている。そして、凄まじい臭い。

驚き、悲しみ、怒り、いろいろな感情が一気にこみ上げてきて、もう泣くしかない。

でも、ふと見上げると、空は限りなく青く高く、そして太陽はやさしく大地を照らし始める。まるで何事もなかったかのように。

以降、瓦礫撤去のボランティアの合間をぬって、各地で太陽の写真を撮り続けました。

被災してしまった方々の心の中にも、またこうして陽が昇ってくることを願って。

現在、被災地は瓦礫がある程度整理され、以前ほどの大変な状況には見えないかもしれません。

しかし、人々の心の問題、雇用、学業、親を失った子どもたちの将来等、目に見えない問題が山積みになっています。

震災から1年。非被災地の僕たちの心では、すでに記憶の風化が始まっています。

しかし、まだまだ終わってはいません。本当に大切なのはこれからです。

今回の写真展は、東北の方たちの生の声を伝える[メッセージ3.11]と同時開催となります。

展示をご覧いただき、東北に対する興味を持っていただければ、幸いです。

そして家族と、友達と、彼氏彼女と、あらためて東北のことについて話をし、

なんでもいいから自分でなにができるかを考え、行動に移すきっかけとなってくれば、と思います。

「誰でもいい」、「一人でもいい」、「一日でもいい」という状況に変わりはありません。

震災1周年は、過去を振り返るためだけのものではありません。

これからの決意をする、大切な時です。

## 平林克己写真展

2012年3月1日(木)～15日(木) Tower Gallery 3.3.3

10:00～21:00(入場無料)

〒105-0011 東京都港区芝公園4-2-8 東京タワー FootTown 3F

後援:石巻市 協力:東京タワー / 竹鶴孝太郎

平林 克己 Katsumi Hirabayashi — info@web-ktm.com

東京生まれ。大学在学中より撮影を始め、卒業後に渡欧。オーストリアの首都ウィーンを拠点に、ルーマニア、ポーランド、ユーゴスラヴィア等の東ヨーロッパ諸国を回る。パリに拠点を移し、20世紀末まで活動。帰国後、外資系商社勤務。2007年、思いあって、大阪から船に乗り上海へ。シルクロードを経由しチベット、さらにはヒマラヤ越えでインドに到達。その過程で、カメラマン再始動。写真事務所 Studio KTM 設立。東京都内を中心に、人物、商品、建築等、多岐にわたり商業分野での写真撮影に携る。2011年4月、震災後初めて東松島で津波被害を目の当たりにして以降、ボランティア活動を開始、現在もカメラマンとして日本の復興になにができるか、常に模索中。東北メッセンジャーズを立ち上げたメンバーの一人でもある。

※いただいた募金は、「桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英資金」に寄付させていただきます。

